



# SANSHIN GROUP

## Monthly Report on the ESG

### Jan.2023

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

# TOP MESSAGE

大阪湾は古くから茅渟の海と呼ばれ、好漁場として多くの魚介類が漁獲されてきた。

その茅渟の海で獲れる代表的な魚がその名の通りチヌ（クロダイ）であることはよく知られていると思う。

大阪湾の漁獲量は、湾であることもあり自然環境によるプランクトンの量に大きく影響されるため一定量の漁獲量の確保も目的とし稚魚の放流が毎年行われている。放流される主な稚魚はチヌ（クロダイ）、アコウ（キジハタ）、ガシラ（カサゴ）、メバルなどであり、意外なところではヒラメの稚魚も放流されている。

おおさか環境水研によると、毎年初夏に約8cmのヒラメの稚魚が10万匹程度放流され、年末には約35cm（約400g）に育つそうだ。放流の効果も出ているようで大阪府としては今後年間10tの漁獲量を目指す（現在は7.8t）とのこと。

しかしながら、太平洋に面したとある県ではあまり放流の効果が出ていない。しかも東日本大震災後、数年間の禁漁を経て、自然に漁獲量が増えている。手を加えた方がいいのか、自然に任せた方がいいのか、生態系や自然環境へのバランス是正の難しさが問われる一件である。

サンシン電気株式会社 執行役員  
清原 幸雄

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

干支は中国起源で、年・月・日・時間や方位、角度、ものごとの順序づけに用いられていました。シルクロードを中心とした交易の中で近隣諸国にも伝わり、今日ではヨーロッパからアジアまで広い地域で干支が用いられています。今年には日本では卯年、中国・韓国も同様ですが、ベトナムやチベットなどは今年が猫年なのだそうです。(Y.Y.)

## SANSHIN Hong Kong

At present, the building I live in is undergoing the external wall heating project (including the replacement of old aluminum alloy windows), which is a warm heart project that the government cares about the people. I live in an old residential building in 2000, which is not well kept warm and cold in winter. After transformation, the appearance has been upgraded to a higher level. The next step is to install elevators, especially for the elderly who are inconvenient to climb stairs. At the same time, it also plays a huge role in stimulating domestic demand and economic development. Just imagine how many such buildings there are in Chinese cities, at least millions of them. (M.X.)

## CSI

セブの雨期は6月～10月・乾期は11月～5月になります。ですが、今雨が多くセブでは Dengue 熱が流行しています。成人が発病する確率は低いのですが、年配者や乳幼児が掛かると危険ですので、作業者に注意喚起を行っています。(K.S.)

## SANSHINWest

新年おめでとうございます。今年には卯年で「飛躍」や「向上」の年とされています。3年ぶりにコロナによる行動制限のない年末年始で、多くの方が各地へ移動され楽しまれたようです。コロナも卯年にちなんで回復することを願うばかりです。皆様が健康で過ごせますように、本年もよろしくお願い申し上げます。(Y.A.)

## SHINKOWA

2023年新たな年が始まりました。毎年恒例の千葉成田山新勝寺への参拝も行ってきました、また、久しぶりに伊豆の温泉にもつかりリフレッシュしてきました。今年の1月、2月は寒い予報ですので体に気を付けて、新型コロナウイルスにの感染も注意致します。(M.N.)

## SC2

「五感」は生きる喜びに直結していますが、危機回避のための大事な能力でもあります。特に嗅覚と味覚は、火事や毒ガス、毒物等の危険を知るために備わっています。これを有効に使うためにはシステムリソースに余裕が必要です。今年には強い香りや濃い味をとりすぎないこと、心がけてみませんか♪ (M.I.)



# ESG Report (品質)

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

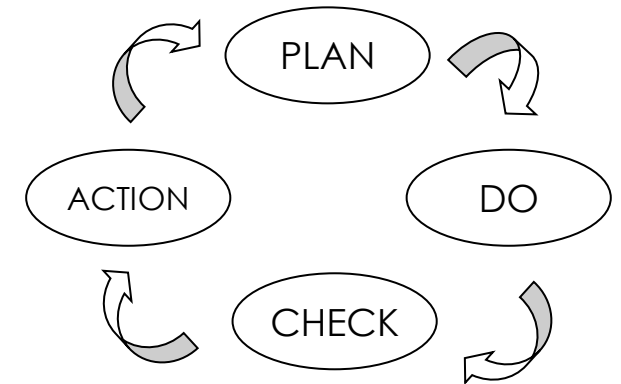
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



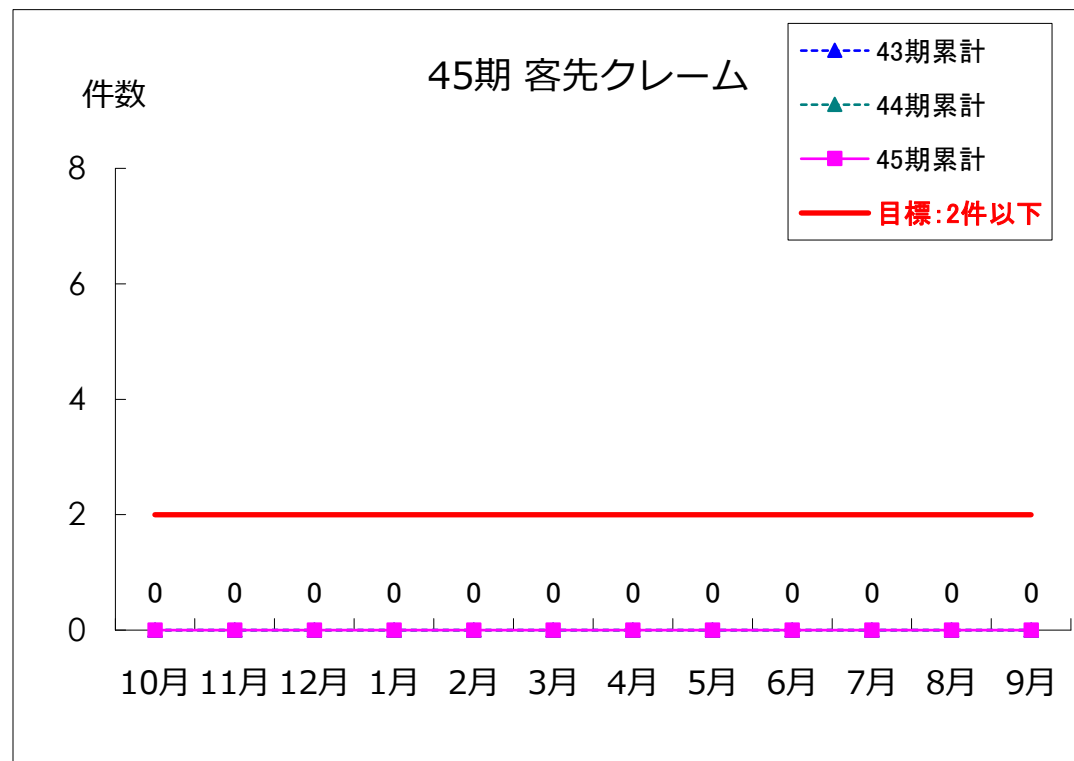
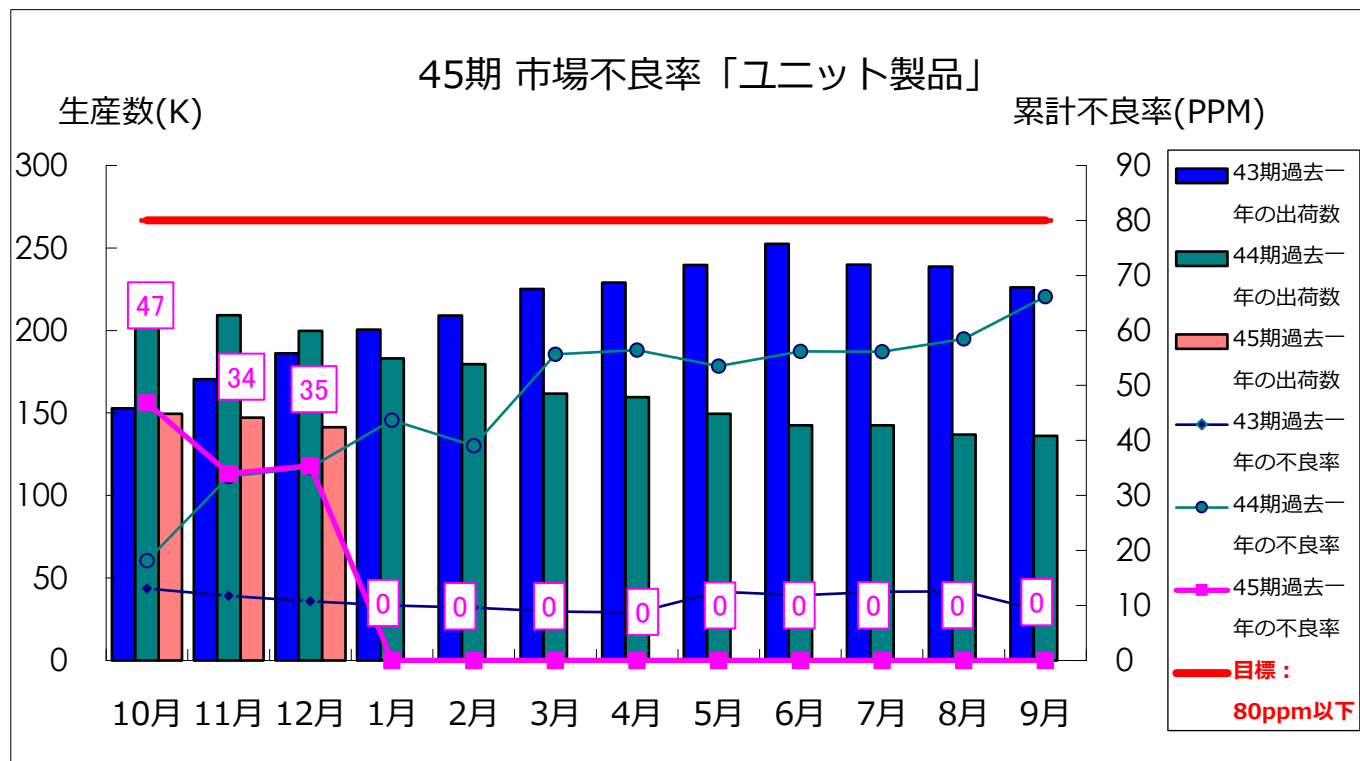
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

# 品質状況

納入品不良率 (目標 : 80ppm)  
 45期の累計不良率(解析依頼含む) : 35ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件





# ESG Report (環境)

# 今月のTOPICS

## ■ 非化石エネ目標、2023年度から大企業に義務化。環境価値は“争奪戦”に

2022年5月13日、参議院で「安定的なエネルギー需給構造の確立を図るためのエネルギーの使用の合理化等に関する法律等の一部を改正する法律案（エネルギー使用合理化法改正案）」が可決、成立しました。

### ☑ エネルギー使用合理化法とは

2022年3月1日に閣議決定された「エネルギー使用合理化法改正案」は、第6次エネルギー基本計画を踏まえ、複数の関連法をまとめた改正案です。今回は、省エネ法やエネルギー供給高度化法、電気事業法の改正のポイントについて説明します。

#### (1) 省エネ法

省エネ法は、名称が「エネルギーの使用の合理化等及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」に改正される見通しです。

・エネルギー多消費事業者の非化石エネルギー目標を義務化へ  
エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）の改正案では、一定規模以上のエネルギーを消費する事業者などに対し、非化石エネルギーへの転換に関する中長期計画の作成・定期報告を義務化することが盛り込まれました。  
また、再生可能エネルギーの出力抑制時や電力需給がひっ迫する際などに、電力供給に合わせて需要をシフトさせるため、これまでの「電力の需要の平準化」という言葉を「電気の需要の最適化」というキーワードに変更します。

# 今月のTOPICS

## (2) 高度化法

エネルギー供給高度化法も名称が「エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律」に変更されます。主な改正内容は次の通りです。

- ・水素・アンモニアを非化石エネルギーに位置付け

エネルギー供給高度化法の改正案では、水素・アンモニアを正式に非化石エネルギーに位置付けます。

また、CCS付き火力発電を法律上に位置付け、活用を促進するとされました。CCSとは「Carbon dioxide Capture and Storage」の略で「二酸化炭素回収・貯留技術」のことを指します。火力発電において発生するCO<sub>2</sub>を回収し、地中などに貯留し、大気に放出しない技術として関心が寄せられています。

こうした改正内容に伴って、法律の名称が「エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律」に変更されます。

## (3) 電気事業法

安定的なエネルギー供給のため、以下のような改正が予定されています。

- ・大型蓄電池が電気事業法上の「発電事業」に

安定的なエネルギー供給を確保するために、大規模な蓄電システムを電気事業法上の「発電事業」に位置付けます。同時に、系統接続の環境整備も進めるとされました。また、過度な電源の退出を食い止めるために、発電所の休廃止を事前届出制とすることも予定されています。

## ☑ 「エネルギー使用合理化法」改正のポイント

改正エネルギー使用合理化法は、事業者などに非化石エネルギーの使用を求める省エネ法のほか、小売電気事業者を対象とする高度化法など複数の法律を束ねたもので、2023年4月の施行が予定されています。

今回の法改正のポイントは、エネルギー使用量が一定規模以上の需要家に対して、非化石エネルギーの使用割合について目標設定を義務付ける点です。また、エネルギー消費原単位の改善に関して、これまで対象だった化石燃料だけでなく、すべてのエネルギー種別が追加されたことも特筆すべき点です。

## ☑ 「非化石エネ目標」義務化の対象となるのは？

非化石エネルギーの使用割合について、目標設定が義務付けられるのは、現在の省エネ法でいう「特定事業者」になるとみられます。特定事業者とは、年間のエネルギー使用量が原油換算で1,500kL以上の大規模な事業者を指します。特定事業者に対しては、これまでもエネルギーの使用状況を毎年報告することが義務付けられているほか、原則として年平均1%以上のエネルギー消費原単位の改善が求められています。来年度からは、これらに加え、非化石エネルギーの使用割合を設定することが義務付けられ、事業活動に伴うCO2排出量の削減がさらに厳しくチェックされていくと予想されます。



出典) 資源エネルギー庁 省エネ法ポータルサイト

# 今月のTOPICS

## ☑ 脱炭素化の加速で非化石証書などの価格競争も激化

こうした背景から、環境価値を取引するJクレジットや非化石証書のニーズが、これまでになく高まることが予想されます。2021年5月11～13日には、2021年度4回目となるFIT・非FIT非化石証書の取引結果が発表されました。それによると、約定価格の加重平均は最低価格となっていることがわかります。さらに、現在、非FIT非化石証書は、産地などを証明するトラッキングのコストが付加されていませんが、今後はトラッキングコストがプラスされる方向性も打ち出されています。今年3月時点では、約0.008円/kWhになるとみられていましたが、こうしたニーズの高まりによって0.1～0.5円/kWhになるという見方もあります。

大手企業を中心に脱炭素化がさらに白熱し、環境価値を奪い合うようなことも十分考えられます。コストとのバランスをとりながら排出量を低減していくには、しっかりとした計画を練る必要があります。

2021年度 非化石価値取引市場 取引結果通知

非化石価値取引規程第22条の規程により、以下のとおり取引結果を公開します。

取引	約束手日	約定額 (kWh)	約定価格 (円/kWh)	約定最高価格 (円/kWh)	約定最低価格 (円/kWh)	入札会員数	約定会員数	売入札総額 (kWh)	買入札総額 (kWh)	
非FIT (再生非固定)	第1回	8月26日	416,692,142	0.70	-	-	19	11	5,081,011,244	3,911,947,878
	第2回	11月24日	3,129,944,302	0.60	-	-	7	7	10,082,724,291	3,129,944,302
	第3回	2月8日	2,256,578,219	0.60	-	-	5	5	14,754,528,146	2,256,578,219
	第4回	5月11日	320,400,000	0.60	-	-	8	8	21,991,270,596	320,400,000
非FIT (再生非固定)	第1回	8月27日	1,744,483,697	0.60	-	-	51	49	3,771,161,985	3,934,655,830
	第2回	11月25日	1,845,636,348	0.60	-	-	39	39	11,479,874,868	1,845,636,348
	第3回	2月9日	2,825,123,103	0.60	-	-	33	33	15,408,485,605	2,825,123,103
	第4回	5月12日	35,095,886	0.60	-	-	22	21	16,603,675,785	35,095,886
FIT	第1回	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第2回	11月26日	1,929,287,096	0.33※	1.60	0.30	118	118	55,954,364,497	1,929,287,096
	第3回	2月10日	1,340,762,310	0.30※	2.00	0.30	122	122	83,551,269,235	1,340,762,310
	第4回	5月13日	2,139,067,723	0.30※	2.00	0.30	136	136	108,175,290,075	2,139,067,723

出典) 日本卸電力取引所

※約定価格加重平均価格

# サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。





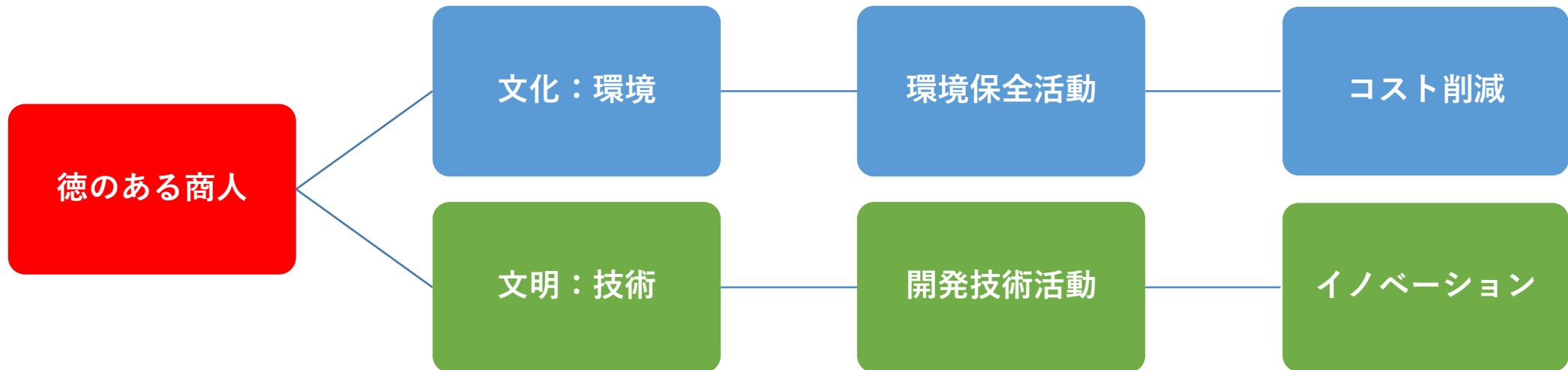
# サンシングループ環境経営への歩み

# 1. 環境経営の基本マインド

\* サンシングループ経営理念

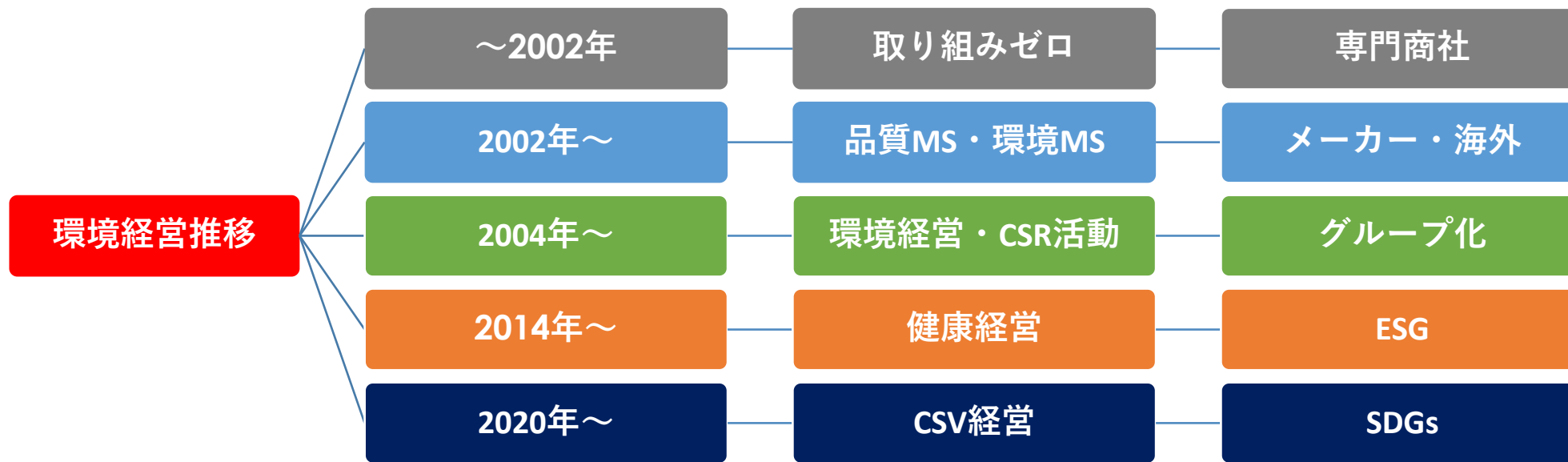
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



## 2. 環境への取り組み

### 2002年から現在までの経緯



## 2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

**健康経営**を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

**CSV経営**を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

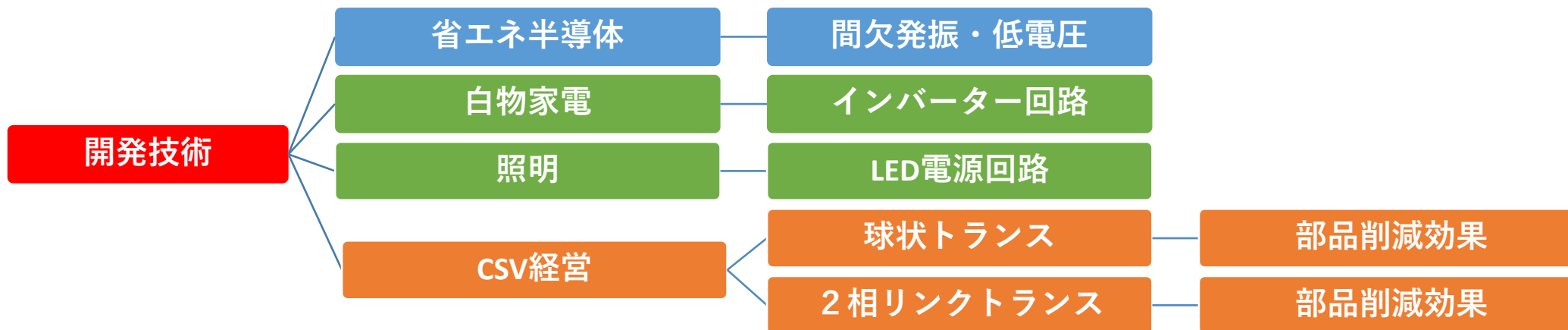
### 3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
  - **テレワーク**による電気/交通費削減
  - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
  - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
  - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

## 4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス





## 4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

**LED照明用**の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

**環境とイノベーションを結び付けた技術開発**

**CSV経営 モノ×コト = 価値創造**

## 5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）  
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
  - 4：輸送配送
  - 5：廃棄物
  - 6：出張交通費（旅費除く）
  - 7：従業員交通費

## 6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！

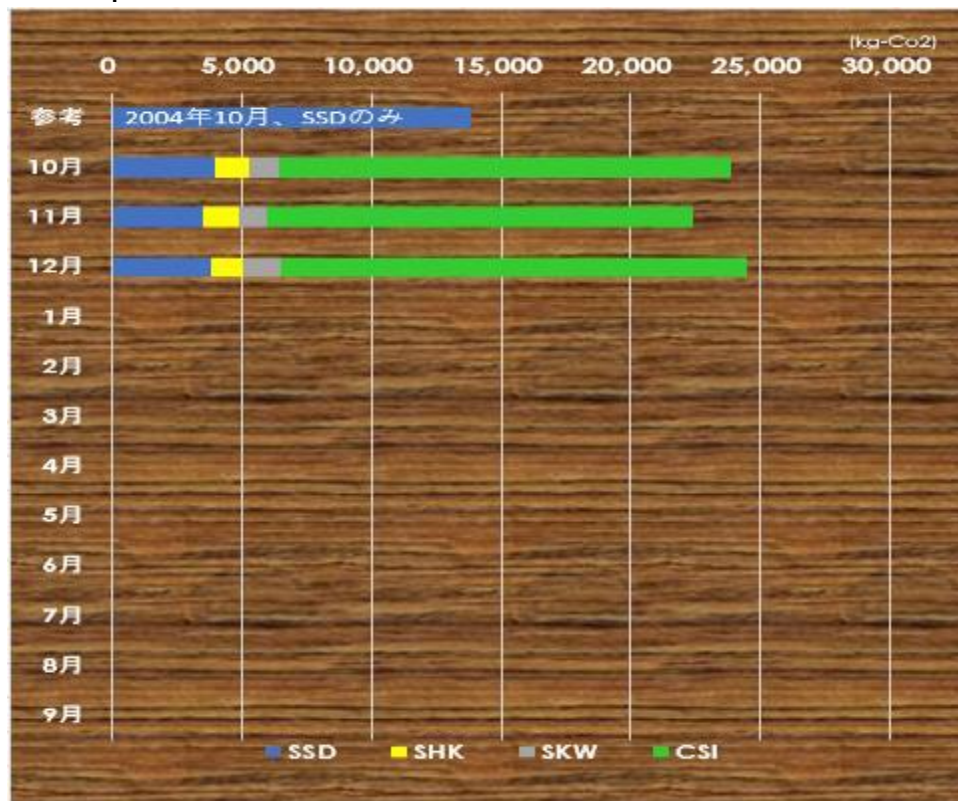


# 活動報告

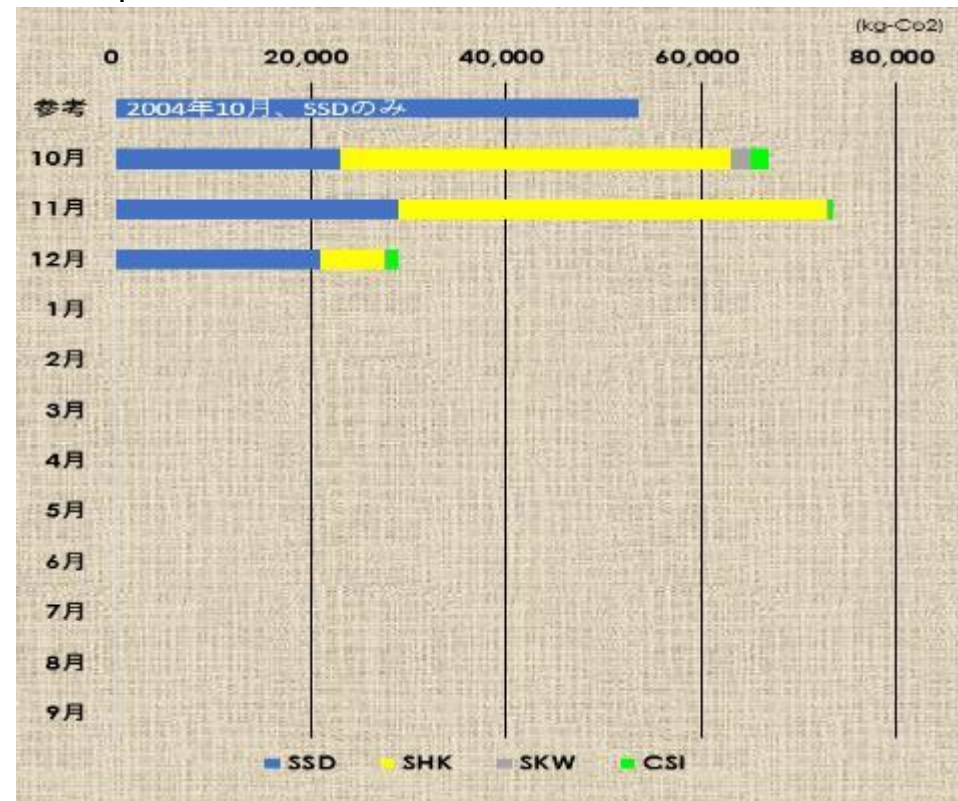
- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

# SSGサプライチェーン排出量

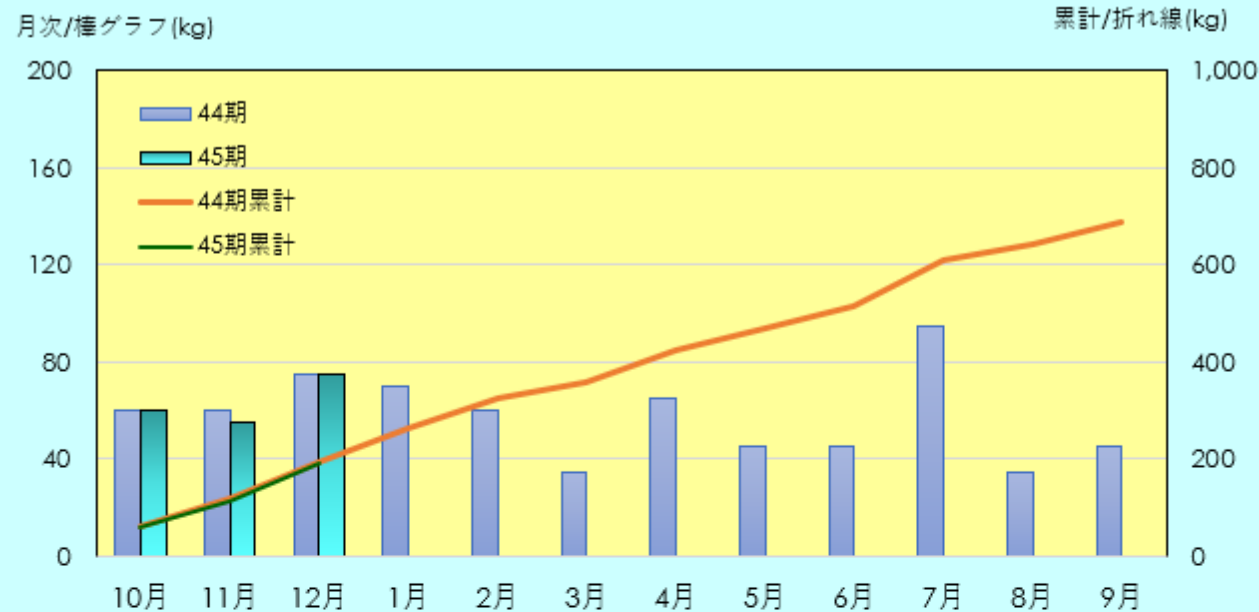
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



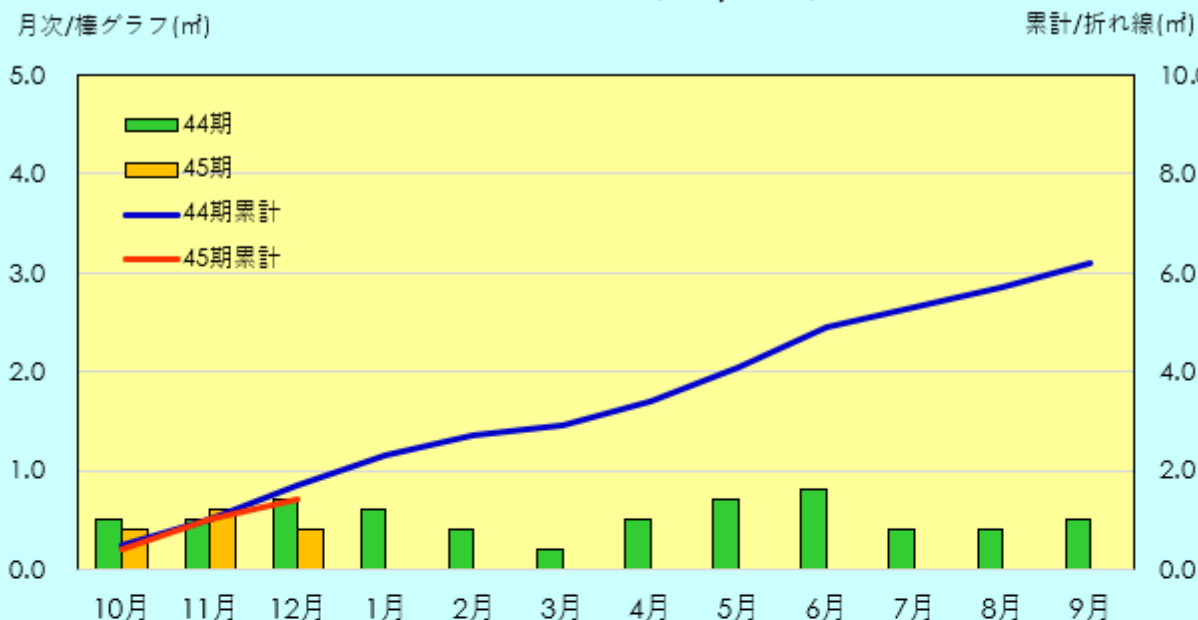
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



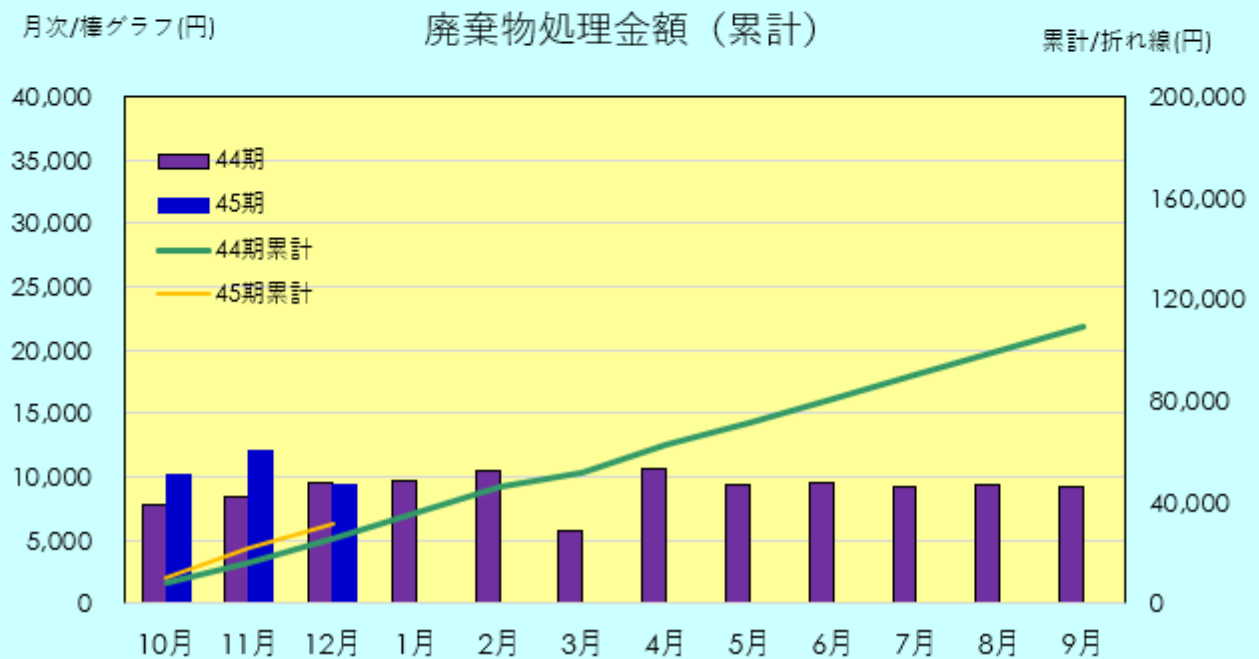
### 一般廃棄物 (SSD/本社)



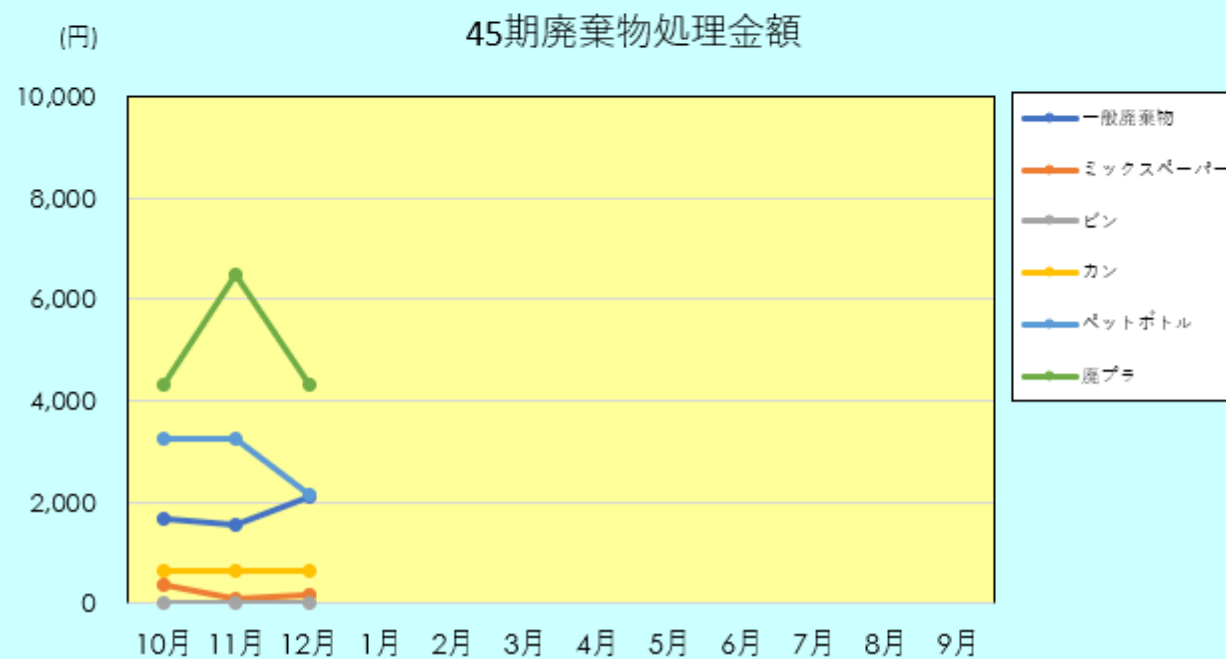
### 一般産業廃棄物 (SSD/本社)



### 廃棄物処理金額 (累計)

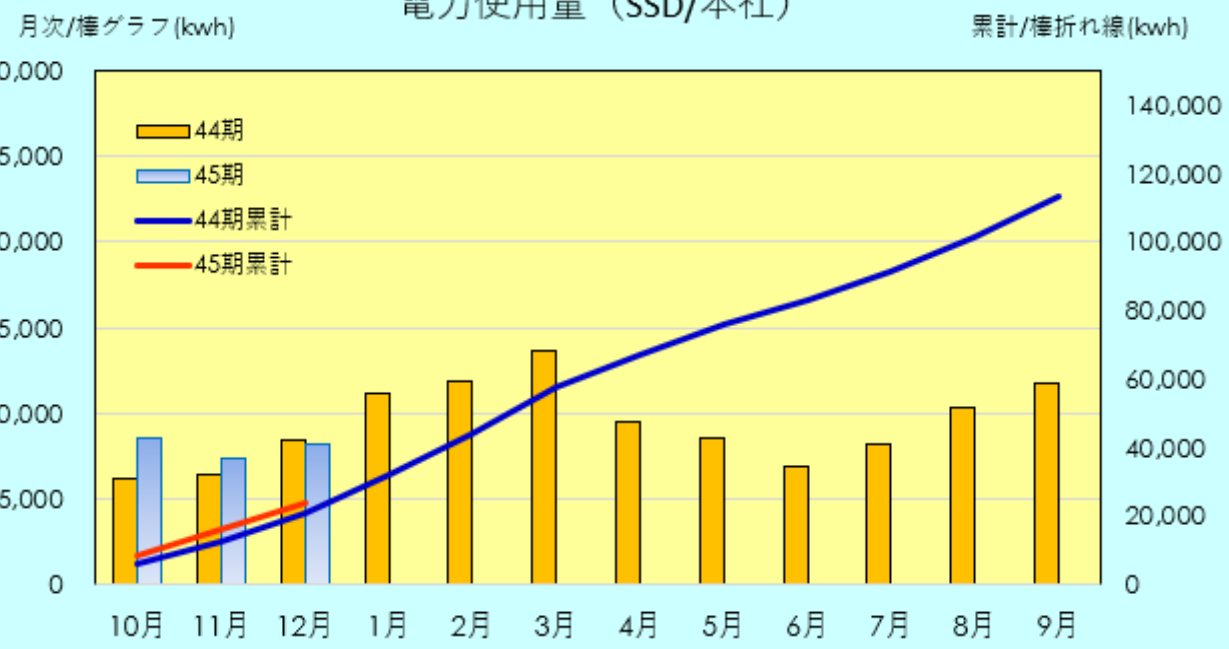


### 45期廃棄物処理金額

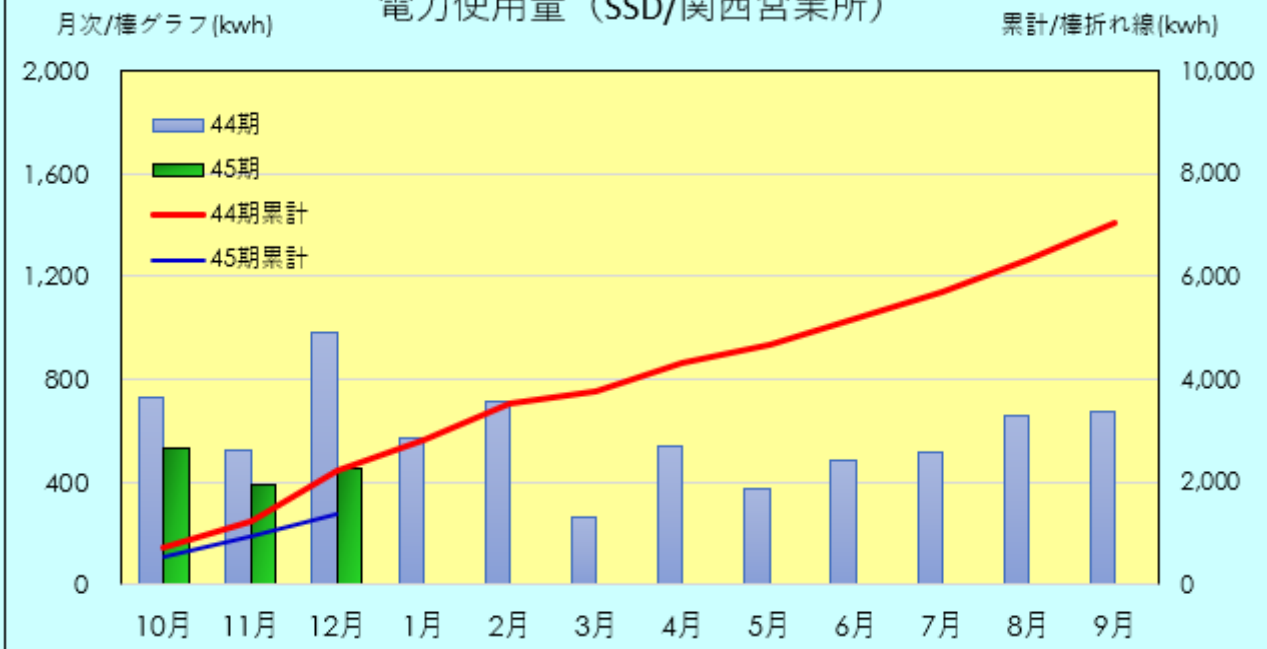




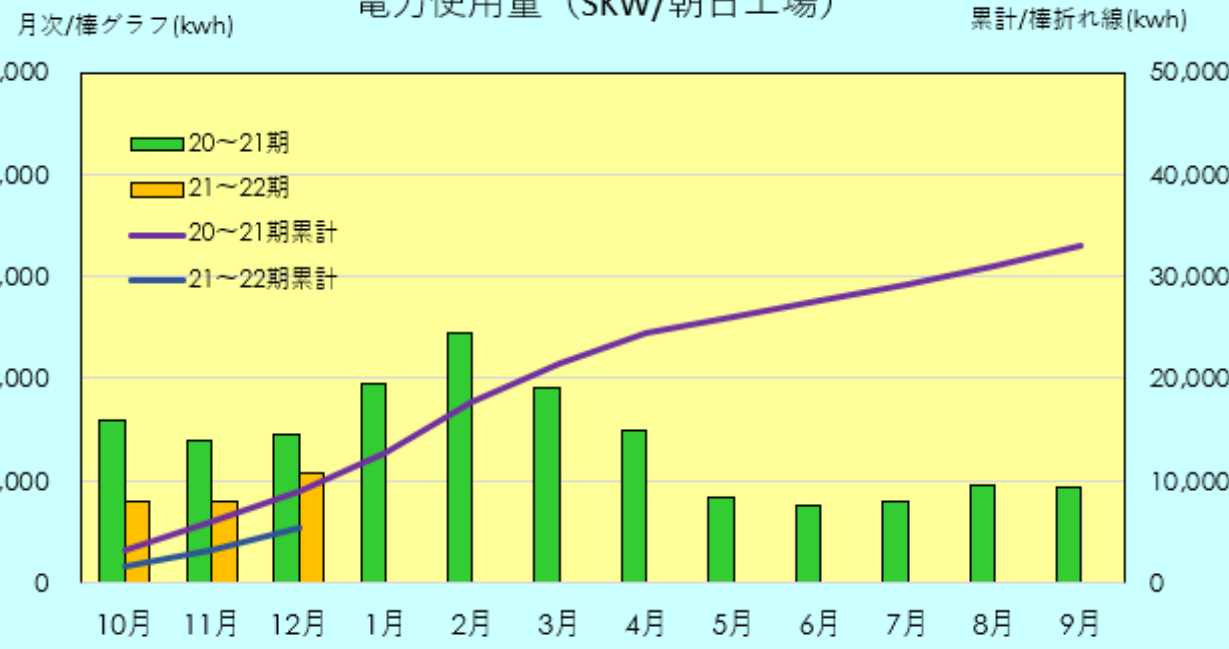
### 電力使用量 (SSD/本社)



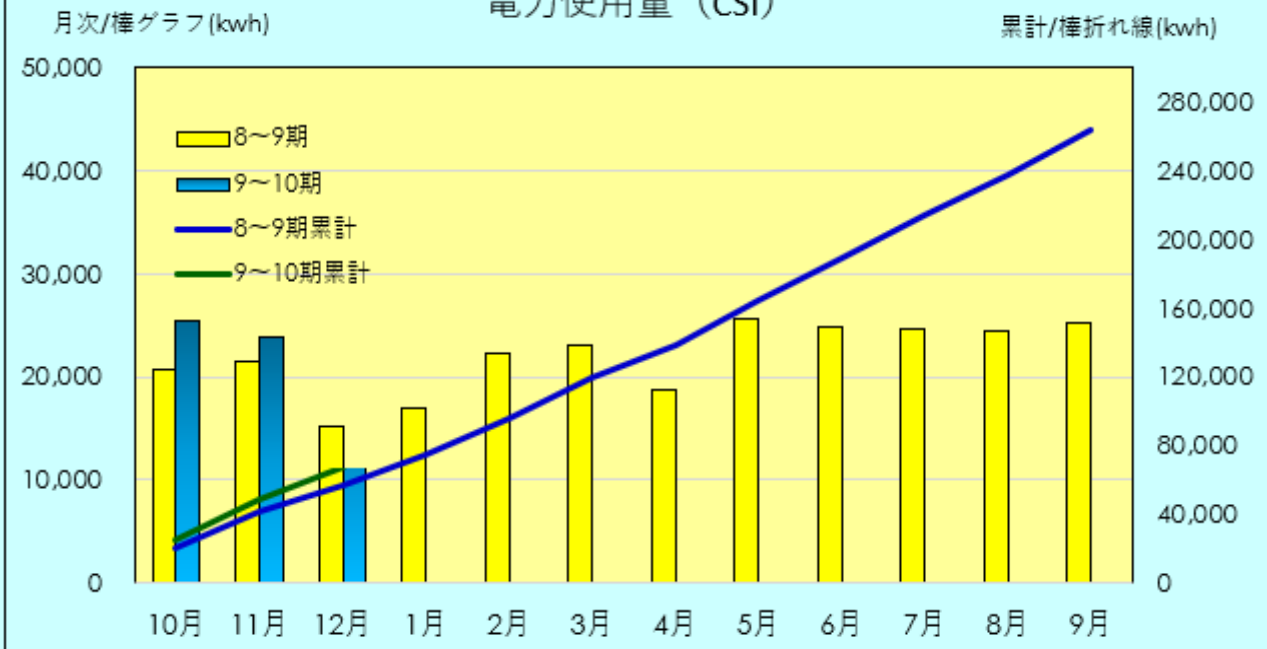
### 電力使用量 (SSD/関西営業所)



### 電力使用量 (SKW/朝日工場)



### 電力使用量 (CSI)



# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

～動物保護団体 アルマに協賛しています～

(株)ミタスライフはNPO法人アルマに協賛しています。  
アルマは、主に関東圏の動物愛護センターに保護された犬猫を  
引き取り、新しい飼い主へ譲渡する活動を行っています。  
1日も早く犬猫の殺処分がなくなることを願います。

NPO法人アルマのHPはこちらから。  
<http://alma.or.jp/index.html>

株式会社ミタスライフ  
<https://mitaslife.wixsite.com/diamond-with-you>



アルマさんの2023カレンダーに  
協賛広告を掲載しています。

# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（12月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）



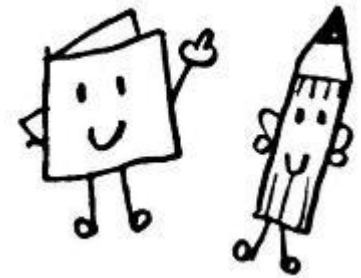
# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）



# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



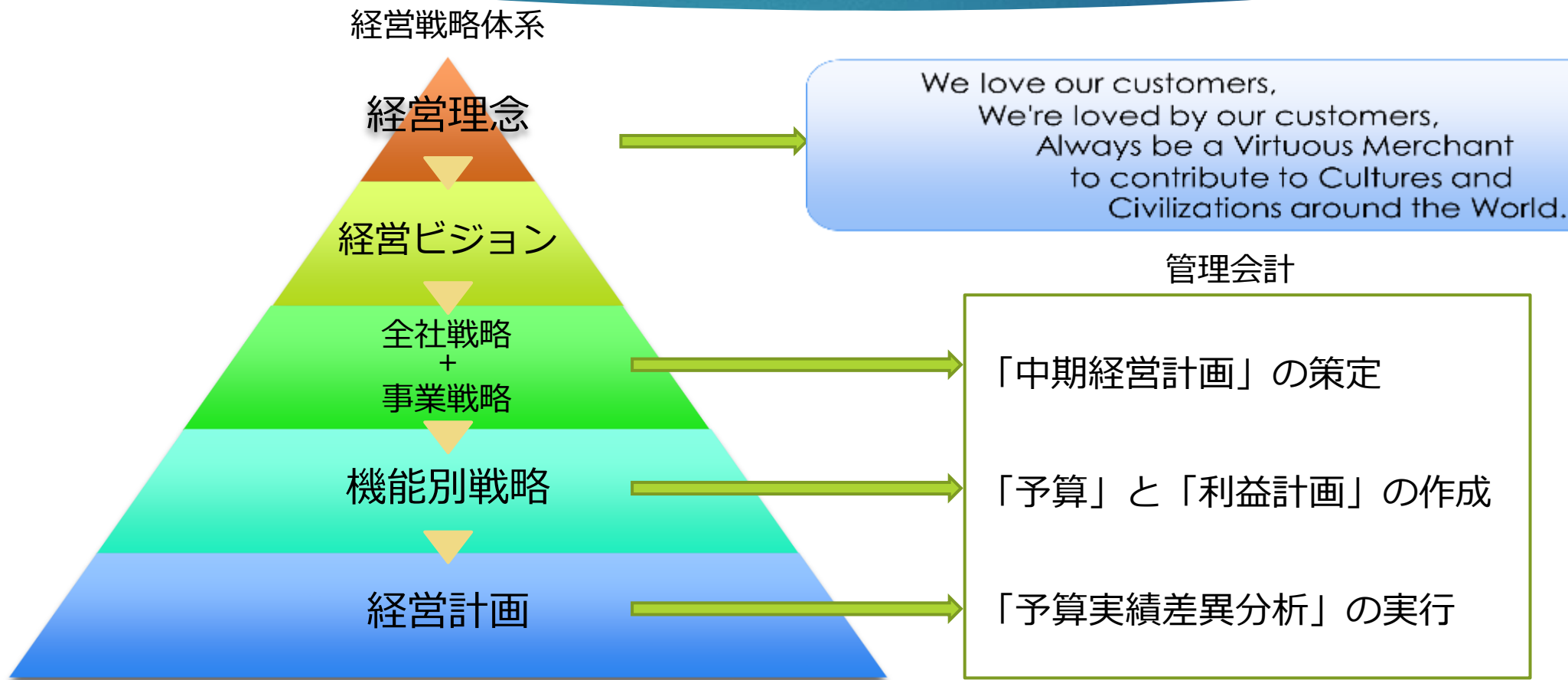
# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

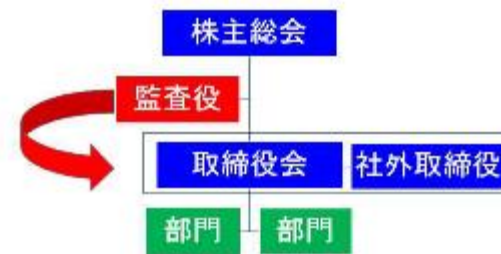
## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。





# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

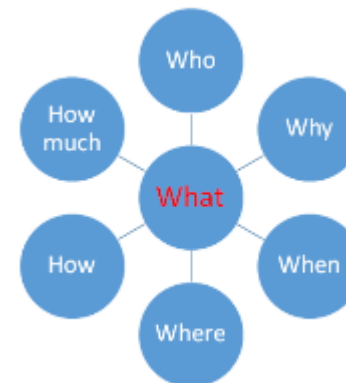


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



PDCA→P' サイクルの概念

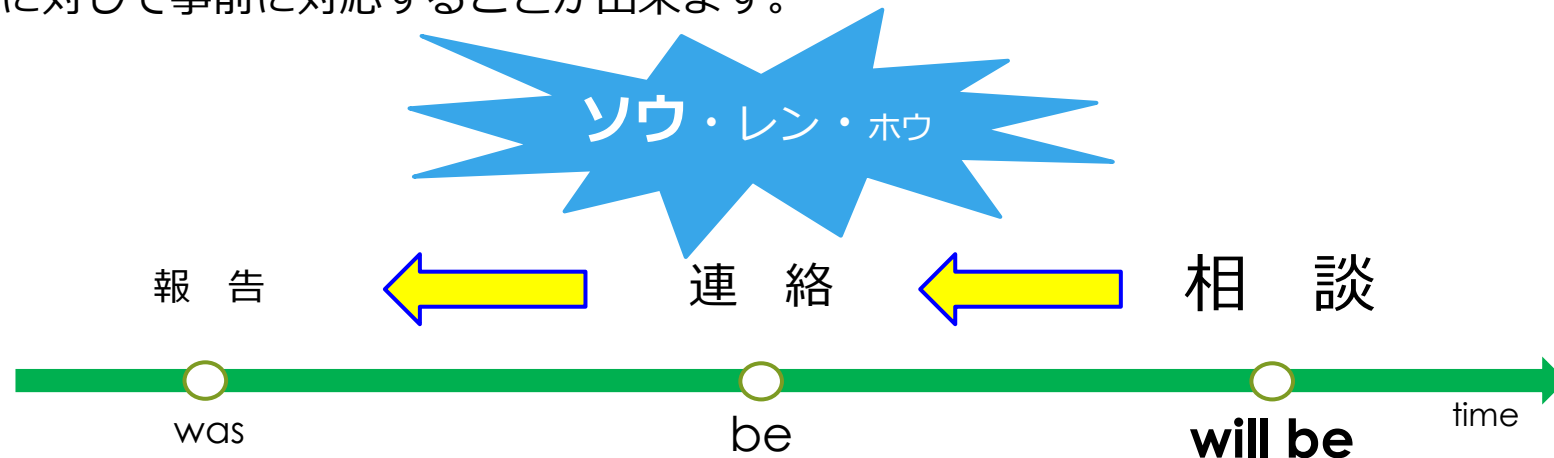


出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。



# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集  
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。2022年はコロナ禍や紛争などネガティブな話題が多かったでしょうか。今年は明るい話題が少しでも増えることを願っています。